

## シンボルロードの活用ニーズを踏まえた整備・活用の考え方（案）

	日常利用	定期的なイベント利用	彩夏祭
朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画（平成22年4月）	○現在の樹林を活かした、 <b>林の中の小道（コミチ）</b> ○公園通りの喧騒に対する緩衝帯	—	—
朝霞市基地跡地利用計画書（平成27年12月）	○通行（歩行者、自転車道） ○健康・軽運動（ジョギング、ウォーキング、 <b>散策</b> 、ヨガ等） ○休息（ <b>休憩</b> 、 <b>歓談</b> 、 <b>飲食</b> 、読書等） ○動植物の鑑賞・観察、学習会、課外授業 ○ <b>樹林・植栽の維持管理活動</b>	○ <b>ストリートライブ</b> 、大道芸などの <b>パフォーマンス</b> ○ <b>フリーマーケット</b> ○ガーデニングショー ○フラワーカーペット	○ <b>観覧席</b>
第1回専門部会資料打合せ	○ <b>滞留（休憩、会話など）</b> ○自転車による通行 ○徒歩移動（通行） ○ <b>森の中の散策</b> ○子どもが何かを発見できる場	○飲食を伴うゆったりとした <b>大人の音楽イベント</b> 、 <b>ジャズライブ</b> ○ <b>アートマルシェ</b> ○ <b>日曜日市</b> ○ <b>園芸市</b> ○市民や各団体の活動、市民文化の体験 ○「街に出よう！」という気持ちが高まる企画・空間	○ <b>よさこい有料観覧席</b> ○ <b>よさこい出場団体の待機場所</b>
関係機関等ヒアリング	○自転車通行帯 ○歩道 ○ <b>林の中のコミチ、ウッドチップの小道</b> ○ <b>飲食・休憩</b> ○ <b>ベンチに座ってコミュニケーションが生まれる場所</b> ○ <b>ワゴン車（キッチンカー）販売</b> ○ストリートバスケット ○ <b>ボランティアの清掃活動</b> ○レンタサイクル	○ <b>ジャズイベント</b> （駅前イベントの拡大） ○ <b>ミニコンサート、ストリートライブ</b> ○ <b>アートマルシェ</b> （駅前イベントの拡大） ○農業祭（既存のイベントの拡大） ○おしゃれな <b>軽トラ市</b> ○ <b>キッチンカーを使った屋台村</b> ○土日限定のチャレンジショップ ○商店街から募ったイベント ○B級グルメ、アート等の特徴のあるイベント ○イルミネーション ○オリンピックの <b>パブリックビューイング</b>	○ <b>よさこい出場団体の受付・待機所・給水所</b> ○ <b>よさこい観覧スペース</b> ○ <b>踊りの空間（ステージが設置可能な広場）</b> ○出展ブース用スペース ○飲食・休憩スペース  ○仮設トイレ・喫煙所・リサイクルステーション（郵便局前）

## 活用ニーズを踏まえた整備・活用の考え方

## ① 日常利用

- ・自転車、歩行者通行帯の確保
- ・現在の樹林を活かした散策路の整備
- ・コミュニケーションが生まれる滞留空間の創出
- ・市民参加による緑の管理

## ② 定期的なイベント利用

- ・ストリートライブ、アート等の舞台の創出
- ・様々な「市」を開催できる空間の確保
- ・市民のアイデアで活用できる空間と仕組みづくり

## ③ 彩夏祭における利用

- ・よさこいの観覧席を設ける空間の確保
- ・出場団体の待機場所となる空間の確保
- ・出展ブースや休憩スペースとして利用できる空間の確保

（凡例） ■：散策利用 ■：休憩・コミュニケーション ■：市民参加の維持管理活動 ■：飲食関連の利用  
■：音楽・アート系イベント ■：物販系イベント ■：よさこい関連の利用